

マーケットの動き（2024年6月17日～6月21日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。前週末の植田日銀総裁の会見で国債買入減額幅は「相応の規模」になると発言したことなどから金融引き締めへの警戒が再燃したほか、欧州の政治情勢に対する不透明感により投資家の長期債を回避する動きも強まったことなどを受け、国内金利は上昇しました。

クレジット市場は、7月に起債予定のセクターを中心にやや軟調に推移しました。

投資環境見通し（2024年6月）

国内長期金利のさらなる上昇余地は限定的

日銀による早期の政策修正観測が広がる中、国債買い入れオペの減額を受けて、長期的な国債買い入れの減額や追加利上げ時期を巡る思惑が国内長期金利の上昇圧力につながるとみています。ただし、政策金利見通しに加えて米国長期金利の水準も勘案すれば、国内長期金利のさらなる上昇余地は限定的とみています。

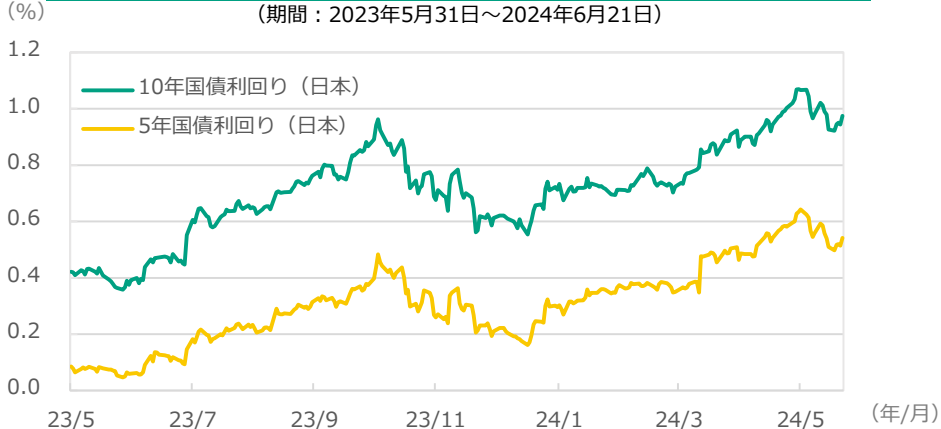
	6月21日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.97	0.05	▲0.00	0.41	0.60
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	359.26	▲0.32%	0.03%	▲2.99%	▲4.68%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202406_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



NOMURA-BPI総合指数の推移



※2023年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成